

平成28年度予算見積調書

課室名： 高校教育指導課

担当名： 未来を拓く学び推進担当

内線： 6773

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B63	「教育の情報化」基盤整備費			一般会計	教育費	高等学校費	教育振興費	情報教育推進費	
事業期間	平成13年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
						分野施策	020104	質の高い学校教育の推進	
1 事業の概要 県立学校間ネットワーク、校内LAN、教務事務システム、教員用コンピュータ等の「教育の情報化」に係る基盤を整備するとともに、機器の整備を伴う国の委託事業を行い、県立学校の情報教育に必要な環境整備を行う。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア ICT活用推進研修(教員研修 5回) 632千円 イ 教務事務システム管理運営費(教務事務システム 27校) 10,661千円 ウ 校内用コンピュータ管理運営費(校内PC賃貸借 175校) 23,393千円 エ 教員用コンピュータ管理運営費(ノートPC等賃貸借 9,452台) 157,430千円 オ 生徒用コンピュータ管理運営費(PC教室賃貸借 313教室) 433,456千円 カ 教育情報ネットワーク管理運営費(県立学校間ネットワーク運営管理 12か月) 361,502千円 キ 情報通信技術を活用した教育振興事業(短焦点プロジェクト設置1校) 3,284千円 (2) 事業計画 ア ICTを効果的に取り入れた事業実践のための教員研修を行う。 イ 教務事務システムを利用することで校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を増加させる。 ウ HR、図書館、進路指導室等の共用PCを整備する。 エ 成績処理、教材作成に係る負担軽減のための教員用PCを整備する。 オ 授業で使用するコンピュータ教室用機器を整備する。 カ 学校間ネットワーク・統合ファイルサーバーを管理運営及びそれらのセキュリティ対策を行う。 キ 一部のモデル校を設定し、ICTを活用した授業の環境構築するためのプロジェクトを整備する。 (3) 事業効果 ア 生徒の興味・関心を高め、わかる授業が展開できる。 イ 校務の効率化を図ることができる。 ウ 進路指導・就職指導の充実に加え、生徒のICT社会に生きる力を育成できる。 エ 学習指導要領に定められた情報教育を行うことができる。 オ 校内LAN及び県立学校間ネットワークの円滑な運営を行うことができる。 (4) その他 【前年度からの変更点】 ア 教務事務システムの契約に伴う減額 イ 校内用、教員用、生徒用コンピュータの更新等に伴う増額 ウ 教育情報ネットワークの改修及びファイル暗号化システム導入等に伴う増額						
2 事業主体及び負担区分 (1)～(6)(県10/10) (7)(国10/10・県0)									
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分) 高等学校費(細目) 学級経費 (細目) 学級経費 (積算内容) 教育用コンピュータ整備費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.4人=32,300千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	990,358	3,284						987,074	262,032
前年額	728,326	25,727						702,599	